

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（平成28年7月～9月期実績、平成28年10月～12月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

「売上額」「採算」「資金繰り」すべての指標が悪化

今期の産業全体の景況は、売上額D Iが $\Delta 24.1$ 、採算D Iが $\Delta 20.8$ 、資金繰りD Iが $\Delta 13.3$ となり、対前期比でそれぞれ5.1ポイント、3.2ポイント、6.0ポイント減少し、すべての指標が悪化した。特に、採算D Iは3期連続の減少となった。

次期は、売上額D Iは回復が見込まれるが、採算D I、資金繰りD Iは更なる悪化が懸念される。

業種別では、製造業、小売業、サービス業ですべての指標が悪化した。建設業はすべての指標が上昇した。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 24.1$ （対前期比 $\Delta 5.1$ 悪化） 次期予想 $\Delta 21.3$ （対前期比 2.8 好転）
- ・採算D I $\Delta 20.8$ （対前期比 $\Delta 3.2$ 低下） 次期予想 $\Delta 24.0$ （対前期比 $\Delta 3.2$ 低下）
- ・資金繰りD I $\Delta 13.3$ （対前期比 $\Delta 6.0$ 悪化） 次期予想 $\Delta 16.4$ （対前期比 $\Delta 3.1$ 低下）

産業全体景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
27年10月～12月		$\Delta 13.8$ 		$\Delta 12.6$ 		$\Delta 10.4$ 
28年1月～3月		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 13.7$ 		$\Delta 12.5$ 
28年4月～6月		$\Delta 19.0$ 		$\Delta 17.6$ 		$\Delta 7.3$ 
28年7月～9月		$\Delta 24.1$ 		$\Delta 20.8$ 		$\Delta 13.3$ 
28年10月～12月 （見通し）		$\Delta 21.3$ 		$\Delta 24.0$ 		$\Delta 16.4$ 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業はすべての指標が悪化

製造業では、売上額D Iが△20.0、採算D Iが△27.2、資金繰りD Iが△14.7となり、対前期比でそれぞれ3.3ポイント、9.0ポイント、17.5ポイントすべての指標で悪化した。

前期は、すべての指標が好転し、資金繰りD Iがプラスの数値となったが、今期は、2ケタの減少となった。

売上額D I、採算D I、資金繰りD Iともに、平成27年4～6月期より、四半期ごとに好転、悪化を繰り返している。

次期は、ほぼ横ばいの見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △20.0 (対前期比 △3.3 悪化) 次期予想 △20.0 (対前期比 0.0 横這)
- ・採算D I △27.2 (対前期比 △9.0 悪化) 次期予想 △27.3 (対前期比 △0.1 低下)
- ・資金繰りD I △14.7 (対前期比 △17.5 悪化) 次期予想 △15.1 (対前期比 △0.4 低下)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
27年 10月～12月		△8.6 		△11.5 		△5.7 
28年 1月～3月		△29.4 		△21.2 		△8.9 
28年 4月～6月		△16.7 		△18.2 		2.8 
28年 7月～9月		△20.0 		△27.2 		△14.7 
28年 10月～12月 (見通し)		△20.0 		△27.3 		△15.1 

(2) 建設業

建設業は2期連続ですべての指標が上昇

建設業では、売上額D Iが0.0、採算D Iが0.0、資金繰りD Iが9.1となり、対前期比でそれぞれ4.2ポイント、20.8ポイント、21.6ポイントすべての指標で上昇した。採算D I、資金繰りD Iが2ケタの回復となった。

採算D Iは4期連続で上昇し、資金繰りD Iはプラスの数値に転じた。各指標、引き続き回復傾向となっている。

次期は、採算D I、資金繰りD Iは悪化に転じる見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 0.0 (対前期比 4.2 上昇) 次期予想 0.0 (対前期比 0.0 横這)
- ・採 算D I 0.0 (対前期比 20.8 上昇) 次期予想 Δ8.7 (対前期比 Δ8.7 悪化)
- ・資金繰りD I 9.1 (対前期比 21.6 上昇) 次期予想 0.0 (対前期比 Δ9.1 悪化)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
27年10月～12月		Δ21.8 		Δ26.1 		Δ22.8 
28年1月～3月		Δ21.8 		Δ20.9 		Δ25.0 
28年4月～6月		Δ4.2 		Δ20.8 		Δ12.5 
28年7月～9月		0.0 		0.0 		9.1 
28年10月～12月 (見通し)		0.0 		Δ8.7 		0.0 

(3) 小売業

小売業もすべての指標が悪化、低下

小売業では、売上額D Iが△44.9、採算D Iが△32.7、資金繰りD Iが△22.4となり、対前期比でそれぞれ2.1ポイント、8.2ポイント、8.1ポイント悪化、低下した。

売上額D Iと採算D Iは3期連続の低下であり、資金繰りD Iも2期ぶりに悪化に転じた。

次期は、採算D I、資金繰りD Iは引き続き低下が見込まれるが、売上額D Iは大幅に改善する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △44.9 (対前期比 △2.1 低下) 次期予想 △31.2 (対前期比 13.7 好転)
- ・採算D I △32.7 (対前期比 △8.2 低下) 次期予想 △34.0 (対前期比 △1.3 低下)
- ・資金繰りD I △22.4 (対前期比 △8.1 悪化) 次期予想 △27.7 (対前期比 △5.3 低下)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
27年 10月～12月		△22.4 		△12.2 		△16.3 
28年 1月～3月		△35.4 		△18.3 		△18.3 
28年 4月～6月		△42.8 		△24.5 		△14.3 
28年 7月～9月		△44.9 		△32.7 		△22.4 
28年 10月～12月 (見通し)		△31.2 		△34.0 		△27.7 

(4) サービス業

サービス業もすべての指標が悪化、低下

サービス業では、売上額D Iが△19.0、採算D Iが△16.2、資金繰りD Iが△13.2となり、対前期比でそれぞれ10.4ポイント、4.7ポイント、7.5ポイント悪化、低下した。売上額D Iは2ケタの減少となった。

売上額D Iと採算D Iは2期連続の減少であり、資金繰りD Iも2期ぶりに悪化に転じた。次期も、すべての指標が悪化する見通しで、状況は厳しい。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △19.0 (対前期比 △10.4 低下) 次期予想 △22.1 (対前期比 △3.1 低下)
- ・採算D I △16.2 (対前期比 △4.7 低下) 次期予想 △20.6 (対前期比 △4.4 低下)
- ・資金繰りD I △13.2 (対前期比 △7.5 悪化) 次期予想 △14.7 (対前期比 △1.5 低下)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
27年10月～12月		△7.4 →		△8.9 ↗		△4.4 →
28年1月～3月		△4.3 ↗		△4.2 ↗		△5.8 ↓
28年4月～6月		△8.6 ↓		△11.5 ↓		△5.7 ↗
28年7月～9月		△19.0 ↓		△16.2 ↓		△13.2 ↓
28年10月～12月 (見通し)		△22.1 ↓		△20.6 ↓		△14.7 ↓

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	0.0%		2.9%	車両運搬具
建設業	9.1%	車両運搬具	4.5%	土地、建物
小売業	8.2%	店舗、販売設備 付帯施設、その他	6.4%	販売設備、OA機器 その他
サービス業	7.4%	建物、サービス 付帯施設、OA機器 その他	9.0%	サービス、車両運搬具 付帯施設

4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	31.0%
	2位	製品（加工）単価の低下、上昇難	20.7%
	3位	従業員の確保難	13.8%
建設業	1位	大企業の進出による競争の激化	23.5%
		民間需要の停滞	
	3位	材料費・人件費以外の経費の増加	11.8%
官公需要の停滞			
小売業	1位	需要の停滞	25.5%
	2位	購買力の他地域への流出	21.3%
	3位	大型店・中型店の進出による競争の激化	17.0%
サービス業	1位	需要の停滞	31.0%
	2位	利用者ニーズの変化	12.1%
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化	10.3%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

平成28年7月から9月の第2四半期を対象とし、調査時点は平成28年9月1日。

(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業36企業、建設業24企業、小売業49企業、サービス業71企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

平成28年10月13日作成
愛知県商工会連合会 指導課
TEL : 052-562-0040